

土台を据える

聖霊に浸される

ローマ 15:13

「どうか、望みの神が、あなたがたを信仰によるすべての喜びと平和をもって満たし、聖霊の力によって望みにあふれさせてくださいますように。」アーメン。

今日は、「土台を据える」というシリーズの続きで、聖霊に満たされることについてお話します。前回は水に浸される、水のバプテスマについてお話しました。今日は、聖霊に浸されることについてお話します。バプテスマという単語は英語ではなく、ギリシャ語の音からとったもので、その意味は、浸すという意味であるとお話しました。

浸されるには、2つの方法があります。スイミング・プール方式で水に入り、水にもぐり、水から出てくる方法があります。それは水のバプテスマです。一方、ナイアガラの滝方式というものもあります。私はナイアガラの滝を初めて近くで見たとき、滝の下では一瞬で濡れになってしまうと思いました。それが聖霊のバプテスマです。

私たちは、2種類の浸されることについて話していきます。水の中に入り、沈み、出てくる、それは、水に浸されることです。また、その下に行き、あなたの上に降り注がれる、すなわち、聖霊によって浸されることです。どちらの場合も、部分的にではなく、また、振りかけるのではなく、完全に浸されます。

さて、4つの福音書がそれぞれ、イエス・キリストが聖霊のバプテスマを受けることを明確に述べていることは非常に興味深いです。このことについてはあまり注目されてきませんでした。各福音書の4つの聖句を読みたいと思います。マタイ 3:11 で、バプテスマのヨハネは言っています。

「私は、あなたがたが悔い改めるために、水のバプテスマを受けていますが、私のあとから来られる方は、私よりもさらに力のある方です。私はその方のはきものを脱がせてあげる値うちもありません。その方は、あなたがたに聖霊と火とのバプテスマをお授けになります。」

そして、マルコ 1:8 でバプテスマのヨハネは言っています。

「私はあなたがたに水でバプテスマを受けましたが、その方は、あなたがたに聖霊のバプテスマをお授けになります。」

また、ルカ 3:16 でバプテスマのヨハネが言っていることです。

「ヨハネはみなに答えて言った。『私は水であなたがたにバプテスマを受けています。しかし、私よりもさらに力のある方がおいでになります。私などは、その方のくつのひもを解く値うちもありません。その方は、あなたがたに聖

『霊と火とのバプテスマをお授けになります。』』

それから、ヨハネの福音書 1:33 です。ここでは、バプテスマのヨハネが先駆けとしてイエスを公式に紹介している部分です。4 つの福音書のそれぞれの導入で、イエスがご自身の民に聖霊によるバプテスマを授けることを、特別に語っています。ヨハネの福音書では、もう少し詳しく書かれています。29 節です。

「その翌日、ヨハネは自分のほうにイエスが来られるのを見て言った。『見よ、世の罪を取り除く神の小羊。』』

そして 33 節です。

「私もこの方を知りませんでした。しかし、水でバプテスマを授けさせるために私を遣わされた方が、私に言われました。『御霊がある方の上へ下って、その上にとどまられるのがあなたに見えたなら、その方こそ、聖霊によってバプテスマを授ける方である。』私はそれを見たのです。それで、この方が神の子であると証言しているのです。」

ここで、ヨハネは 3 つのことを言っています。その方こそ、神の小羊であること、神の子であること、聖霊によってバプテスマを授ける方である、ということです。私たちはみな、イエスは神の小羊である、という言い方に慣れ親しんでいますが、イエスが神の小羊であるというのは、ただ一つの福音書だけに書かれていることです。一方、イエスが聖霊によってバプテスマを授ける方であることは、4 つの福音書すべてで言われていることです。

言い換えれば、それは、私たちがイエスについて知らなければならない最も重要なことの一つであるということです。イエスを救い主として、また神の小羊であると知ることは素晴らしいことですが、それで終わりではありません。イエスが聖霊のバプテスマを授ける方であることを、個人的に知ることは、非常に、非常に重要なのです。

イエスの地上でのミニストリーが完成し、使徒の働き 1:4-5 で復活後にイエスがこの約束を繰り返されています。この約束が福音書で何度も与えられていることは、強調しすぎではありません。使徒 1:4-5 です。

「彼らといっしょにいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。『エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。ヨハネは水でバプテスマを授けたが、もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです。』』

そう、イエスは聖霊によってバプテスマを授ける方であると、バプテスマのヨハネが前もって伝えた約束を、イエスは注意深く繰り返しました。

さて、ほとんどの聖書の注解者が、イエスのこの約束の成就が使徒の働き 2:1-4 に記録されているペンテコステの日であることに同意しています。ですから、聖書がまさに何を言わんとしているのかを、その箇所を読んで、考えてみたいと思います。使徒の働き 2 章 1 節からです。

「五旬節の日になって、みなが一つ所に集まっていた。すると突然、天から、激しい風が吹いて来るような響きが

起こり、彼らのいた家全体に響き渡った。また、炎のような分かれた舌が現れて、ひとりひとりの上にとどまった。すると、みな聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話しました。」

この体験には3つの段階があります。第一に、バプテスマです。聖霊が天から下り、彼らを浸しました。彼らがいた家全体に満ち、天からの注ぎで浸されました。

第二に、彼ら一人一人が聖霊に満たされました。それは、単に集団としての体験ではなく、すべての人がひとり一人受けた体験でした。

第三に、それは満ちあふれ、超自然的に内側の満たされたものが外へ向かって流れ出ました。これは、マタイ12:34で言われている教えで、イエスはこう言われています。

「…心に満ちていることを口が話すのです。」

私は、心に満ちているものを言う、口を通して語る説教者の一人です。新約聖書の多くの箇所が聖霊に満たされている人々について書いてあります。それらの聖句を見ると、すべてのケースでその次に起こることは、その人が語り、預言し、異言で語るなどです。これは全世界的原則です。心が満たされてあふれると、口が語るようになるのです。それがペンテコステの日に関わったことです。彼らは満たされ、みな聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話しましたのです。これは、神と人の協力がなければならないことであると理解することが重要です。神が彼らを満たし、彼らが話します。聖霊は話すということをしませんでした。彼らが話したのです。聖霊は彼らに言葉を与えたのです。

私は長年にわたってペンテコステのムーブメントの中にいますが、「プリンス先生、私は神がそれを全部したらいいと思う。」という人にたくさん会いました。ある男性は、「25年も待っているのだけど、神が全部やってくれるのを待っている。」と言いました。私は、「あなたは残りの人生ずっと待つことになるでしょう。なぜなら、それは聖書的ではないからです。」と答えました。神はご自身の役割をされます。あなたはあなたの役割をしなければなりません。あなたは話さなければならないのです。神は言葉を与えてくださいます。しかし、神は話されません。人々はみな、聖霊が話すように与えられたことを話したのです。

これは、真実なことですが、彼らはペンテコステの日に関わった後に聖霊が下るまで待っていました。その後に関わった人を待ち望んでいた人がいたということは記録にありません。聖霊が与えられ、その後は彼らが祈り、状況に応じてただちに聖霊を受けたのです。

今、これを聞いているみなさんも、あとで時間を取りたいと思いますが、あなたが願うなら、そしてあなたが渴いているなら、今日聖霊に満たされることが出来ます。まだ聖霊を受けたことがないのでしたら、今日それを受けることが出来るのです。あとで祈る時を持ちます。

さて、ここで、使徒パウロが聖霊のバプテスマを描写した方法についてお話ししたいと思います。Ⅱコリント1:

21-22 を読みましょう。

「私たちがあなたがたといっしょにキリストのうちに堅く保ち、私たちに油をそそがれた方は神です。神はまた、確認の印を私たちに押し、保証として、御霊を私たちの心に与えてくださいました。」

パウロは2つのことを言っています。聖霊はしるしであり、保証です。エペソ1:14で彼は似た言葉を用いています。13節から読みます。

「この方であってあなたがたもまた…約束の聖霊をもって証印を押されました。聖霊は私たちが御国を受け継ぐことの保証です。」

保証というのは、頭金という意味でもあります。

ですから、聖霊のバプテスマは、単にあなたの内側で起こるだけで他の人には見えないものではなく、目に見え、聞こえるものです。パウロは、2つのことを言っています。証印と、保証です。

第一に、証印です。あなたはすでにイエスに属していますが、この証印は、公けにあなたがイエスに属しているとみなすものです。イエスはあなたに公的証印を押されました。

昔、書留郵便を送る際、海外では熱した「蠟」を封印のために押し、その上にスタンプを押していました。映画などで見たことがある方もいらっしゃるでしょう。それが、まさに聖霊です。イエスがご自身のスタンプを押され、あなたを選び分けられたのです。書留郵便は特別に運ばれていきます。他の郵便より大切に扱われます。あなたが聖霊のバプテスマを受けたとき、あなたは書留と同様に、天の郵便局からの特別な配慮がなされるのです。

もう一つは、保証、あるいは頭金です。買い物などで全額を支払う前に頭金として一部の金額を収めることがあります。それには、2つの意味があります。その物はすでに私たちに属し、他の人には売ることができないということです。頭金は、私たちが残りのお金を支払い、その物は永遠に私たちのものとなる保証です。それが、聖霊のバプテスマのわかりやすく鮮明なたとえです。

さて、証印とは何でしょうか。これは、議論になる質問です。私が考える限り、新約聖書では一度だけ証印という言葉を用いており、それは、あなたに語らせる聖霊としての異言について語っています。カルト集団で異言を語るものがあり、人々は恐れてこう言います。「私が正しいものを受け取っているかどうか、どうやってわかるのか？」イエスは、もしあなたが神の子どもで、天の父にパンをくださいと言ったら、あなたに蛇を与えることはしないでしょう、と言っています。いいですか。言い換えると、神の保証書を持っているあなたが正しいものを求めるなら、あなたは正しいものを得ることができるのです。恐れることはありません。しかし、もしあなたが神の子どもではないのなら、その約束は適用できません。神の子どもでなければならないのです。イエスは、あなたが天の父に聖霊を求めるなら、天の父はそれを与えてくださると言っています。ですから、証印は見えるもの、聞こえるもの、公けのものです。証印は秘密ではありません。そうでなければ、その目的を果たすことができないからです。証印は、使徒2章にあるように、彼らは

みな、聖霊が語るために与えた、他国のことばで語り始めました。

それについて4つのこととお話したいと思います。第一に、使徒たち自身の経験として受け取った証印であったということです。イエスは、父の約束を受け取るまでは、エルサレムにとどまるようにとされました。ですから、彼らは10日間待ちました。聖霊が下って彼らが異言で語り始めたら、彼らは二度と待つことはありませんでした。それは彼らが自分たちの体験として受けた証印です。

第二に、それは、他の人にも認められる証印です。一つの注目すべきケースを少し見ていきます。

第三に、彼らは他のいかなる証印も決して求めませんでした。これはとても重要なことです。私は、これまでに非常に多くの人たちから、「プリンス兄弟、私が聖霊のバプテスマを受けたということを、どのようにして知ることができるのですか。私はかれこれの経験をして、神に祈り求めてきましたが、受けたかどうかをどのように知るのでしょうか。」と聞かれました。私の答えは、あなたが証印を受けたときに知ることができる、です。御霊があなたに話させてくださるよう異言で語り始めたとき、あなたは受けたのです。さらに言うと、あなたは聖霊を持っています。というのは、聖霊は物ではなく、あなたが受けた人格だからです。

では、今の3つを繰り返しましょう。

それは、使徒たちが受けた証印です。

それは、他の人から認められた証印です。

そして、彼らは、他のいかなる証印も求めませんでした。

さらに言うと、新約聖書は、他のいかなる証印も私たちに提供していません。新約聖書にはその選択肢はないのです。

では、イエスがルカ 24:52-53 で言っていることを見てみましょう。復活の後に、弟子たちに別れを告げた時に言ったことです。これは、私が取り上げたいもう一つの考えです。多くの人は言います。「本当にうれしい。喜びで満ちている。いつも主を賛美していた。これは証印ではないのでしょうか？」新約聖書はそう言っていません。喜びに満ちること、主を賛美することは素晴らしいことですが、それは新約聖書の証印ではありません。私が何故そういふかと言うと、イエスの復活の後にこのようにあるからです。ルカの福音書の一番最後の部分です。

「そして祝福しながら、彼らから離れて行かれた。彼らは、非常な喜びを抱いてエルサレムに帰り、いつも宮にいて神をほめたたえていた。」

彼らは、非常な喜びを抱いて、いつも神をほめたたえていましたが、まだ証印は受けていませんでした。ペンテコステの日まで、受けることはなかったのです。イエスは、とどまって待つようにとされました。彼らはそれ以降待つことはありませんでした。聖霊が下り、異言で語り始めたときが、待つことに終わりが来ました。

さて、とても鮮明にそのことを表わしている、使徒の働きにある、特定のケースを見ていきたいと思います。使徒の働き 10章の最後の部分です。ペテロが超自然的にコルネリオの家に導かれるところです。異邦人の家に入ること、

ましてや異邦人と食事をするという事は、ユダヤ人の彼にとって適切ではないので、ペテロは行きたくありませんでした。しかし、神からの力により、彼は他に6人のユダヤ人信者と一緒に行きました。彼は、証人がほしかったのです。そしてペテロがイエスについて彼らに話していると…使徒の働き 10:44 はこう言っています。

「ペテロがなおもこれらのことばを話し続けているとき、みことばに耳を傾けていたすべての人々に、聖霊がお下りになった。」

その前の節にあります、ペテロがこのようなメッセージを語っているときに、聖霊が下ったのは興味深いことです。

「イエスについては、預言者たちもみな、この方を信じる者はだれでも、その名によって罪の赦しが受けられる、とあかししています。」

そして、この素直な考え方のコルネリオの家の人たちは、それを信じ、罪の赦しを受けました。彼らが罪の赦しを受けると、聖霊が彼らに下るように準備されていました。こう言っています。

「ペテロがなおもこれらのことばを話し続けているとき、みことばに耳を傾けていたすべての人々に、聖霊がお下りになった。割礼を受けている信者で、ペテロといっしょに来た人たちは、異邦人にも聖霊の賜物が注がれたので驚いた。」

そうです、ペテロと一緒に来た人たちは、福音がユダヤ人以外のものではないと思っていたのです。彼らは異邦人がクリスチャンになることができるとは考えてもいませんでした。しかし、彼らが異言で語るのを聞いたとき、「私たちがもう議論するには及ばない。」彼らは、どうしてそう考えたのでしょうか。次の節にこうあります。

「彼らが異言を話し、神を賛美するのを聞いたからである。」そこでペテロはこう言った。

彼らはそれ以外のしるしはなく、また、それ以上のしるしを求めませんでしたが。

さて、今日ある人はこのように言います。「彼らは6週間かそこら待って、実を結ぶかどうか確かめた方がよかったかもしれない。」しかし、彼らはそうしませんでした。私たちは実について話しているのではなく、賜物について語っているのです。その2つに違いはありますが、どちらも非常に重要なものです。賜物は、一回のプロセスで受け取ります。実はゆっくりとした成長のプロセスでやって来ます。

みなさんの中には、単にクリスマスを祝い、クリスマス・ツリーを持っていることに疑いを抱かない人もいます。クリスマス・ツリーの下にはプレゼントが置いてあります。プレゼントを上げる人に手渡して、相手が受け取る。それだけです。プレゼントは、一度のプロセスです。

一方、実というものは、例えばリンゴなら、クリスマス・ツリーではなく、リンゴの木に育ちます。時間をかけるプロセスがあります。

ぜひ理解していただきたいのですが、実は非常に重要ですが、賜物と混同しないでください。今お話ししているのは、御霊の賜物で、一つの単純な手続きで受け取ることができるものです。

ですから、ペテロはコルネリオの家の人たちについてこのように答えました。

「この人たちは、私たちと同じように、聖霊を受けたのですから、いったいだれが、水をさし止めて、この人たちにバプテスマを受けさせないようにすることができましょうか。」

言い換えれば、ペテロは、その人々とペンテコステの日に起こったことの違いはないと言ったのです。

そのあと、異邦人のところに行って語るべきではないと、ペテロを批判していた自分の仲間のユダヤ人たちへの報告で、こう言っています。使徒の働き 11:45 です。

「そこで私が話し始めていると、聖霊が、あの最初のとき私たちにお下りになったと同じように、彼らの上にもお下りになったのです。」

コルネリオの家の人たちに神の風、あるいは炎の舌が現われたことには触れず、彼らがみな、異言で語り始めた経験だけを語ったのです。ですから、それは疑いなく、使徒たちが受けた証印であり、他の人々に認められた証印であり、それ以上の証印を求めることもありませんでしたし、新約聖書にも他の証印も見つけることはできません。

さて、異言で語ることは、時に、奇妙なもの、伝統的ではないものだと考える人もおり、中には悪魔的だと言う人もいます。ある時、私が異言を話すということで、私を避けていた有名な伝道者がいました。私は彼を赦しましたが、彼の考え方は支持していません。

お分かりのように、神は時にある体験の始めにつまずきの石のようなものを置かれることがあります。もしあなたが本気でないなら、先延ばししてしまうでしょう。人々は、学んだことのないことばを話し、おそらくとても興奮し、ある人々は不快に感じます。私が育った教会の背景は、キリスト教の真の姿に対してかなり間違った見方を持っています。第一に、キリスト教を非常に厳粛なものと考えています。教会に入ると、大声で話さず、立ちあがり、また座り、讃美歌を歌いますが、何かについて興奮することはないでしょう。そのような教会で私は育ったのです。私は 10 年間、週に 8 回教会に通っていましたが、異言の経験がなかったわけではありません。しかし、それは聖書的な絵柄ではありません。私たちは、神が私たちに成してくださっていることを自由に表現することができなかつたので、多くの人たちは苦しみました。聖書の中の人々を見ると、人々は泣き、叫び、あえぎ、手をたたき、踊り、歌い、興奮しています。彼らは燃えていました。

私は、東アフリカの教師養成学校の指導者として働いていたとき、教師たちを雇わなければなりません。私が学んだことは、あらゆる教育的資質を持っていても、教師としてはふさわしくない人もいることでした。また別の人は、教育的資質にはかなり欠けるけれども、教師としてとてもうまくやっている人がいました。彼は熱心だったのです。私は、熱心さに取って代わるものはないという結論に至ったのです。

去年、妻と私はモスクワで、ほとんどが新しい信者の 1,000 人ほどと一緒にいた時、彼らの熱心さに圧倒され、「このようなことを他の場所でも見たい。」と思いました。彼らは、「イエス・キリストはすべての主！」と賛美し始め、10 分ほど賛美し続けました。彼らには指揮者もなく、ただ賛美が止まらなかったのです。妻と私は、その曲を録音し、私たちが霊において、まさに主を必要とするときにその曲を流しています。それは、上手に録音されたものではありませんが、それを聞いたたびに興奮と情熱がやって来ます。

あなたが信じているものを、他の人にも信じてもらいたいときに、一番いい方法は、あなたが情熱を持っていることを彼らに確信させることです。もし、あなたが「魚の目」で悩んでいて、いい薬が見つかったら、みんなに教えるでしょう。

あなたはそれ以上に価値ある薬、罪のための薬を見つけたのです。そのことに興奮して、周りの人に言わないことは不自然です。興奮を生み出すお方は、聖霊です。最初に読んだ聖句を覚えていらっしゃいますか。

「どうか、望みの神が、あなたがたを信仰によるすべての喜びと平和をもって満たし、聖霊の力によって望みにあふれさせてくださいますように。」

私たちが希望であふれさせてくださるものは何ですか。聖霊の力です。今、みなさんの中で、望みにあふれていない方はいらっしゃいますか。みなさんはイエスに興奮していますか。興奮して黙ってはいられないという人は何人いるでしょうか。そのようであるべきなのです。そして、この落ち着いた厳粛さは、新約聖書にあることをあまり行っていないのです。あとで少し例を挙げてみましょう。

さて、新約聖書では、聖霊のバプテスマが与えられるには 2 つの方法があります。一つは天から直接、人々に下ります。ペンテコステの日、そしてコルネリオの家で起こったものです。もう一つは、手を置いてもらうことによるもので、3 か所に書かれています。使徒の働き 8:14-17 に、サマリヤでの出来事についてです。

「さて、エルサレムにいる使徒たちは、サマリヤの人々が神のことばを受け入れたと聞いて、ペテロとヨハネを彼らのところへ遣わした。ふたりは下って行って、人々が聖霊を受けるように祈った。」

この人々はピリポから福音を聞いていました。彼らは信じ、バプテスマを受けたことが前の節に書かれています。彼らは救われましたが、聖霊はまだ受けていませんでした。使徒たちは、その人々が素晴らしい救いを受けた事実だけでは満足せず、さらなるものを求めました。16、17 節。

「彼らは主イエスの御名によってバプテスマを受けていただけで、聖霊がまだだれにも下っておられなかったからである。ふたりが彼らの上に手を置くと、彼らは聖霊を受けた。」

これは、他の信者が手を置くことによって、聖霊が与えられたということです。

そして、次の章では、タルソ人のサウロがパウロとなった時のことが書かれています。ダマスコで、弟子のアナニヤが手を置いて彼のいやしのために祈るように遣わされ、サウロは聖霊を受けました。パウロはアナニヤに手を置いてもら

って聖霊を受けたのです。

そして、使徒の働き 19 章では、別の状況を見ることができます。エペソにいたパウロはある弟子たちに出会います。パウロが、彼らに信じたときに聖霊を受けたかと聞くと、聖霊のことは聞いたこともないと答えました。そこでパウロは、彼らがイエスの弟子ではなく、ヨハネの弟子だと知りました。そこでパウロは、その時はそれでよかったけれども、今はイエスにある信仰でバプテスマを受ける必要があると言いました。そして彼らは水のバプテスマを受け、

「パウロが彼らの上に手を置いたとき、聖霊が彼らに臨まれ、彼らは異言を語ったり、預言をしりました。」

あなたにお勧めします。異言で語るだけで終わらないでください。それは素晴らしいことですが、どうして預言に続かないのでしょうか。神はねたんではおられません。神はあなたに預言の体験もさせてくださいます。

聖霊のバプテスマの目的は何でしょう。第一の目的は、神からの超自然的な力を受けることです。これは、使徒の働き 1:8 でイエスが天に昇られようとしているときに、最後に弟子たちに言われたことです。イエスが地上で語られた最後のことばです。

「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。」

ここで使われている力という単語は、ギリシャ語のドウナミスで、英語のダイナマイトの語源です。ダイナマイトというのは、爆発を起こすものです。聖霊が下ると爆発が起きるのをあなたは見るのです。

多くの人は、イエスが死からよみがえられたという事実によって強められたと言います。しかし、それは正確ではありません。なぜなら、イエスが死からよみがえったのは 50 日前であり、エルサレムでその力について聞いた人は一人もいなかったからです。しかし、聖霊が下った時、そのことをエルサレム中が数時間の間に耳にしました。それはダイナマイトです。爆発です。恐れで、爆発を喜ばない人もいるでしょう。しかし、それが聖霊の爆発、いや、破裂と言いましょ。聖霊さまがなさりたいことをしていただきましょ。私の家にはシャンデリアを付けたいと思っただけありませんが、神がそうしてほしいと願うなら、喜んでほしいと思います。私をそのような方向に神が導くとは思えませんが、

彼らが受けたのは何でしたか。証人となる力です。

「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」

このように、福音のメッセージは超自然的です。それは自然の出来事の記録ではなく、まったく超自然的なものです。イエスは死なれ、葬られ、よみがえられ、天に昇られました。それは、超自然です。もしあなたが、超自然的な出来事を証明しようとするなら、あなたには超自然的な力が必要です。少し神学的なだけでは不十分です。力をいただく必要があります。そして人々は見極めます。罪人は、時にクリスチャン以上に見分けることができるので、本当の超自然的な力が来ている時を知って、耳を傾けるでしょう。私は、多くの文化においてそれを発見しました。罪人は超自然の存在を見極めることができるのです。それは彼らのためのものです。彼らの注意をひきつけ、まさに「あなた

がたは力を受け、私の証人となる。」とイエスが言われたように。

また、ローマ 15:18-19 でパウロは自分のミニストリーについてこう言っています。

「私は、キリストが異邦人を従順にならせるため、この私を用いて成し遂げてくださったこと以外に、何かを話そうなどとはしません。キリストは、ことばと行いにより、また、しるしと不思議をなす力により、さらにまた、御霊の力によって、それを成し遂げてくださいました。」

パウロは、自分のミニストリーで聖霊が成してくださったことの価値についてだけ語っているのです。彼は超自然的力により、しるしと不思議により、聖霊が異邦人、非ユダヤ人、未伝道の人々を従順にさせたと語っているのです。

私は多くの国々で異邦人と接してきました。私はいつも東アフリカでの 5 年間のことを振り返ります。私は、アフリカ人教師たちの師範学校の校長でした。当時は、すべてのアフリカ人が教育を受けたいと思っていました。ですから、彼らの熱望に答えていたのです。彼らは学生として学校に通い、とても協力的で従順でした。教育を求めていたからです。私たち宣教師たちが言うことは、基本的に何でも行ないました。ある日、私は彼らを集めて言いました。「みなさんに感謝します。みなさんはとても従順で、とても協力的です。みなさんは教育を受けたいということで、私たちの要求を何でも行ないました。」しかしまた、こう言いました。「みなさんのほとんどの人の頭の中には、まだ答えられていない質問があるでしょう。」私はそう言って、みんなの注意を引きました。そしてこう言いました。「私はその質問の答えを教えることができません。その質問とは、こうです。聖書は、本当に私たちアフリカ人が信じていることができる本なのか、それとも、ただ白人のもので、アフリカ人のためではないのか。」それはまさに、彼らの班長が言っていたことでした。そして私はこう言いました。「聞いてください。みなさんの人生に神の超自然的力を体験しない限り、あなたはその答えを知ることはできないでしょう。もし、あなたがそれを体験したら、聖書がアメリカやイギリスから来たものではなく、天から来たことがわかるでしょう。」そう言って、私は彼らの前を去り、その後も神のことばを彼らに語り続けていましたが、ほとんどの時は祈っていました。数か月後、神の超自然的な聖霊の注ぎが彼らの上に臨みました。その学校のすべての生徒が聖霊のバプテスマを受けたのです。その時まで、彼らのために熱心に祈らなければなりませんでした。それ以降、彼らが祈っているのをやめさせることは困難になり、彼らは寮で夜の半分を祈りに費やしました。彼らは超自然的の証印、天からの力を受けたからです。私の白人の友人の宣教師たちは、以前このような考えをしていました。「申し訳ないが、これは真実だ。君はアフリカ人たちを励ますことはできるが、彼らはそれ以上にはなれない。」私は彼らと議論はせず、ただアフリカ人とともに過ごしていました。しかし、聖霊が下った時、何が起こったと思いますか。その宣教師たちは、何が起こっているのかを見にやって来ました。突然、彼らはアフリカ人も、高みに行けるとわかったのです。

これは、一つの例に過ぎません。その若者たちには、個人的な超自然的体験が必要でした。他の人種や他の文化から来た人からのメッセージだけでは十分ではなかったのです。

それから数か月の間に、その大半が 25 歳以下という学生たちの間で、9 つの聖霊の賜物すべてが働くのを私たちは見ました。事実、私たちは 2 人の人が死からよみがえるのも見たのです。人々は、「こんなこと見たことあるかい。」と言いました。私の答えは、「もちろんある。」です。時間がないので詳しくは説明しませんが、人が死からよみがえらさ

れた時、人々は座り直し、耳を傾けるのです。イエスは弟子たちに、「行って、天の御国が近づいたと宣べ伝えなさい。病人をいやし、死人を生き返らせ、ツアラアトに冒された者をきよめ、悪霊を追い出さなさい。」と言いました。イエスは、その方向性を変えませんでした。私は住んでいた地域のユダヤ人たちに、このように言ったことがあります。「私のような非ユダヤ人は、超自然的に証明しなかった福音を信じるようにあなたがたユダヤ人に求めたことを謝罪するという借りが私たちにはあります。なぜなら、神が遣わした特別なメッセンジャーを通して、何らかの形で神は常に超自然的な立証を与えたことを、あなたの聖書的背景が物語っているからです。それが聖霊のバプテスマの目的であり、超自然の領域に私たちを導くものです。それは、本当に福音が効果的に宣言される唯一の領域です。

ヘブル 2:3-4 を見てみましょう。

「私たちがこんなにすばらしい救いをないがしろにした場合、どうしてのがれることができます。この救いは最初主によって語られ、それを聞いた人たちが、確かなものとしてこれを私たちに示し、そのうえ神も、しるしと不思議とさまざまな力あるわざにより、また、みこころに従って聖霊が分け与えてくださる賜物によってあかしされました。」

ヘブル書の著者は、なぜ私たちが福音のメッセージに耳を傾けるのかについて、3つの理由を言っています。第一に、福音を最初に宣言したのはイエスだからです。第二に、福音はイエスを直接見た証人によって確かとされたからです。しかし、第三には、聖霊が超自然的なあかしを、しるしや不思議、聖霊の賜物をともなったメッセージに与えるからです。懐疑的なこの世は、まさに私たちが行なっていることを教会に期待しています。もし私たちが知的なメッセージや数ヶ所の聖句を提示するだけなら、神のみこころのレベル以下の生き方をしているということです。ある人々は救われ、それは素晴らしいことですが、神にとってはベストなものではありません。

さて、聖霊の賜物、聖霊のバプテスマのもう一つの理由をお話したいと思います。I コリント 12 章に書かれています。これは、新約聖書全体で最も誤解される聖句です。実は、それは、翻訳者たちがパウロの言わんとしていることに先入観を持っていたので、間違っただけです。私は 10 歳からギリシャ語を学んでおり、私が今言おうとしていることには自信があります。自信がなければ何も言いません。I コリント 12:13 です。

「なぜなら、私たちはみな、ユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由人も、一つのからだとなるように、一つの御霊によってバプテスマを受け、そしてすべての者が一つの御霊を飲む者とされたからです。」

ここで、間違っている言葉は、「一つの御霊によって」という「よって」という部分です。ギリシャ語では、「ひとつのからだとなるように、一つの御霊にあってバプテスマを受け…」です。そして、新約聖書には聖霊が人々にバプテスマを授けたという他の箇所はありません。聖霊がバプテスマを授けたのではなく、人々が聖霊にあってバプテスマを受けたのです。私たちは、聖霊にあって新しく生まれることで、私たちをからだとさせてくださるのです。

さて、「一つ」という言葉が強調されています。パウロが言っているのは、バプテスマの目的は、からだに一致をもたらすということです。一つの御霊にあって、私たちはみな一つのからだにつながるバプテスマを受け、一つの御霊を飲む者であるのです。パウロは「一つ」という言葉を 3 回使っています。前の学びで、私はバプテスマについて、「～で」と「～の中に」という使い方のことをお話しました、私たちがバプテスマを受けるとき、何かでバプテスマを受け、何かの中へとバプテスマを受けるのです。しかし、実際ヨハネのバプテスマも、クリスチャンのバプテスマも、すでに人々は、

その入ろうとするものの中にすでにいる状態です。ヨハネのバプテスマは、悔い改めのバプテスマでしたが、悔い改めていない人には授けませんでした。ですから、ヨハネのバプテスマは、悔い改めを生むものではなく、悔い改めた、ということヨハネが承認するものでした。

そして、クリスチャンのバプテスマ、水のバプテスマは、キリストの中へとバプテスマを受けます。しかし、私たちがバプテスマを受けるときは、すでにキリストの中にいます。そうでなければ、私たちはバプテスマを受ける権利がありません。水のバプテスマを受けることが私たちがキリストに置くのではなく、キリストにあるということの証印です。

それはこのことについても同じです。一つの御霊にあって、一つのからだの中へと私たちはみなバプテスマを受けるのであって、私たちはそのからだにいなかったのではありませんが、それは私たちがからだにつながっているということの証印です。ですから、すべてのケースにおいて、～でバプテスマを受け、～の中へとバプテスマを受けます。～というのは媒体です。ヨハネのバプテスマでは、それは水で、クリスチャンのバプテスマも水です。聖霊のバプテスマでは、それは聖霊です。私たちはすでにいるものの中へとバプテスマを受けますが、それはその中にあるというしるしです。悔い改めにある、キリストにある、一つのからだにあると言うことです。しかし、忘れてはならないことは、聖霊のバプテスマはからだに一致を生むためにあるものです。これは最近の教会の歴史の悲劇の一つですが、残念なことに、私たちはあまりにも肉的になって、一致を受け入れる代わりに、分裂を生んでしまいました。そのために、私たちはみな、悔い改める必要があります。忘れないでください。聖霊のバプテスマは、あなたが一つのからだの一部とならせ、それはすべての真の信者もそうであって、教派や人種、文化に関係なく、同じ体の一員なのです。聖霊はただ一つしかなく、からだも一つしかありません。

それが神の目的ですが、他の多くのことと同様、残念ながら、私たちは神の目的を誤用してきました。例えば、聖餐式は、からだの一致を強調するという、同様の目的のためにあります。しかし、私たちの肉によってそれはどのようになったでしょうか。分裂を生みました。それは、神のせいではなく、私たちの落ち度です。私たちはみな、何らかの責任を負っています。ペンテコステ派でない人たちは、批判的です。ペンテコステ派は横柄です。私も長くペンテコステ派にいますが、私たちのスローガンは「私たちはすべてを手にかけている。」です。私は彼らを見ると、「あなたが何を持っていようと、それは十分ではない。」と覚えてしまいます。私がオランダ系のペンテコステ教会にいたとき、年を取った未亡人にそういう人がいました。彼女は貧しく、病気で、彼女はオランダ語で、「私たちはすべてを手にかけている。」と言いました。私が彼女を見ると、もしそれがすべてなら、大したものではないと思いました。しかし、お分かりのように、そのような態度は多くの人の反感を買ってきました。私たちペンテコステは、すべてを得ているという態度です。私たちは完全な福音を持っている。それ以上のものはない。私たちはバプテスマと異言を持つことができますが、神の基準には到底達していません。あなたが絶対的に完全であるという保証はないのです。それは完全の証印ではなく、完全になる助けです。

多くのペンテコステがそのような態度です。救われ、新しく生まれ、水のバプテスマを受け、異言で話し、到達した。とんでもない、あなたはただ始まったばかりです。それはゴールではなく、入り口です。しかし、もしあなたが入り口をゴールのように扱うなら、あなたはその先には一歩も進めません。そのことに少し注意をした方がいい人もいらっしゃるでしょう。私は、ペンテコステ派は大好きですし、それによって救われました。長年、ペンテコステ派はすべてにおいて正しいと考えてきました。しかし、ペンテコステ派にも弱さがあることがわかりました。しかし、忘れないでほしいことは、

聖霊のバプテスマは、クリスチャンに一致をもたらすためであるということです。

もう一つ取り上げる必要のあることは、目に見える現象についてです。私は、ほとんどのクリスチャンが「抑圧された生き方」をしているのではないかと考えます。彼らは神が与えてくださっているものを自由に表現していません。なぜなら、私たちには、「教会では、静かに話し、あまり興奮してはいけない、椅子に姿勢よく座り、またひざまずく」という厳粛な標準を持っているからです。しかし、新約聖書のクリスチャンたちはそのようなことはほとんどしていません。聖書の人々の体験にはそのようなものはほとんどありません。興奮していました。ダビデの詩篇を読んでください。彼は叫び、泣き、涙で寝床が濡れるほどでした。ダビデは強い感情の持ち主でした。イエスでさえ、もがき、涙を流して感情を表現されました。

私以上にそのような経験をした人はいないのではないのでしょうか。私はとても古い伝統的な学校で育ち、厳格にそれを守ってきました。しかし、ある夜、私は聖霊のバプテスマを受けたのです。それがどんなものかも知らず、教会にも通っておらず、軍のバラック小屋で起こったのです。救われるため、あるいは聖霊のバプテスマを受けるために教会に行かなければならないとかに関しては全く無知でした。私は両方とも真夜中のバラック小屋で受けたのです。しかし、私が教会に行き始めると、人々は神のための余地を設けていないことに気づきました。私は超感情的な人間ではありません。

問題は、私たちが自分の感情を消してしまったことです。神が私たちの内に成してくださっていることを、自由に表現してきませんでした。例えば、賛美はただ言葉を発するだけではなく、からだの態度です。ひざまずいたり、ひれ伏したり、手をたたきます。それが聖書的な賛美の姿です。私たちは聖書の基準からかけ離れており、聖霊が私たちの内に与えてくださっているものを表現していません。聖霊を消し、抑圧してきました。厳粛であろうとし、感情的になつたり、興奮したりすることを恐れてきました。

私は過度に感情的な人間ではありませんが、聖霊に従順であると信じています。聖霊が私の内に置かれたものを表現していると思います。

聖書の人物を少しだけリストアップしてみましょう。

アブラハムです。主は彼に現われ、彼はどうしましたか。ひれ伏しました。みなさんの中でそのようにする人は何人ぐらいいらっしゃるでしょうか。

それから、イスラエル人です。主が彼らのいけにえを超自然的な炎で受け入れたとき、彼らはひれ伏して叫びました。聖書は喜びの声を上げたと言っています。叫びとは、大声で歌うことではありません。あなたは、サッカーの試合観戦に行き、応援しているチームのゴールが決まったら、立ち上がって叫ぶでしょう。なぜですか。興奮したからです。あなたは、サッカーに興奮するのに、イエスや聖霊に興奮しないでいられるでしょうか。

そしてヨシュアです。彼はエリコの外で主の軍の将に会い、そこでヨシュアは顔を地につけて伏し拝みました。実は、聖書の偉大な人のほとんどが、少なくとも一度は神の御前で顔を地につけているのです。そして、軍の将はヨシュアに言いました。「あなたの足のはきものを脱げ。あなたの立っている場所は聖なる所である。」私たちが2年前にエル

サレムでのカンファレンスへ行ったとき、人々は何の説明もなく、静かにくつを脱ぎ始めました。そこが聖なる場所であることを知っていたからです。

神の炎、神の臨在と栄光が宮に満ちたとき、祭司は、顔を地につけたと聖書にあります。彼らは立っていることができなかつたのです。

エレミヤ書を紹介したいと思います。彼は尊敬すべき預言者で、他の預言者以上に聖書の多くを書きました。エレミヤ 23:9 です。

「預言者たちに対して——私の心は、うちに砕かれ、私の骨はみな震える。私は酔いどれのようだ。ぶどう酒に負けた男ようになった。主と、主の聖なることばのために。」

これは、主の聖さに対するエレミヤの反応です。彼は、「私の骨はみな震える」と言いました。からだが震えることなく、骨が震えることはあり得ません、彼は言いました。「私は酔いどれのようだ。主の聖さのために」あなたは今までに、そのようにからだで主の聖さを感じたことがありますか。そう、ほとんどの人が非常に制限された生き方をしているのです。

ペンテコステの日に使徒たちは、聖霊が下り、みな厳粛になった、ではありません。まったく逆で、とても奇妙でみっともない行動をとりました。彼らはみな、聞いたこともない言葉を話し、未信者たちは何と言ったと思いますか。彼らは酔っばらっているとやったのです。あなたが教会から帰る道で、誰かがあなたにそのように言ったことがありますか。

使徒ヨハネは、幻の中でイエスに会い、死んだようにその足元に倒れました。力に圧倒されたのです。

時間がないので、他の人物には触れず、重要なことに進みましょう。聖霊を受けるための 7 つの条件があります。

第一に、悔い改めです。使徒 2:38「悔い改めて、バプテスマを受けなさい。」

第二に、水のバプテスマを受けることです。水のバプテスマを受けて聖霊を受け取ります。

第三に、渴くことです。イエスは言われました。「だれでも、渴いているなら、私のところへ来て飲みなさい。」

第四に、イエスの元へ来ることです。聖霊を授けられる方はただお一人です。聖霊のバプテスマを受けたいなら、その人のところへ行かなければなりません。

第五に、求めることです。イエスは言われました。「してみると、あなたがたも、悪い者ではあっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天の父が、求める人たちに、どうして聖霊を下さないことがありますか。」多くのクリスチャンは言います。「神が私に聖霊を持つことを願われるなら、与えてくださるでしょう。私が求める必要はない。」イエスは、求めなさいと言われました。天の父は、求める者に聖霊を与えるとイエスは言われたのです。

第 6 に、あなたは受け取らなければなりません。受け取ることは飲むことと比較されています。

そして最後、第七に、これはある人にとっては難しいことかもしれませんが、あなたの中から言うことを聞かない器官を認めなければなりません。あなたが制御することのできないその器官とは、舌です。聖霊によって舌を制御する

ことは、神のしるしです。聖書で舌は「私の栄光」と呼ばれています。日本語の聖書翻訳にはありませんが、詩篇 16:9 は言っています。「私の栄光で神をほめたたえる。」ペテロは使徒の働き 2:26 で「私の心は楽しみ、私の舌は大いに喜んだ。」と、それを引用しています。

あなたの舌はあなたの栄光であることを知っていましたか。また、その理由を知っていますか。なぜ私たちには舌が与えられたのでしょうか。神をほめたたえる — この究極の目的のためです。神をほめたたえない舌の使い方は、間違った使い方です。しかし、聖霊が下り、あなたの舌を制御する時、あなたが言うこと、語ることすべてが神をたたえるでしょう。それは、神があなたの口に与えた本当の目的のために舌を用いる最初の時となります。

さて、みなさんは聖霊がほしくて渴いてきたのではないのでしょうか。そのように願います。そうでなければちょっと悲しいです。今ここで、そのような経験をどのように受けるかを簡単にお話したいと思います。ヨハネ 7 章のイエスのことばを見てみましょう。

『だれでも渴いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい。わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる。』これは、イエスを信じる者が後になってから受ける御霊のことを言われたのである。イエスはまだ栄光を受けておられなかったため、御霊はまだ注がれていなかったからである。』

イエスが栄光をお受けになるまでは聖霊は与えられなかったのです。しかし、イエスが父の右の座におられるようになると、聖霊が注がれました。

ここで、簡単な条件があります。あなたはまだバプテスマを受けていない、あるいはまだ求めたことがないかもしれません。私はバプテスマのことさえ知りませんでした。私は求めなかったのですが、神は私を聖霊で満たしてくださいました。この奇妙な感覚は、私のおなかの中で感じ取りました。「なんだ、これは？」と思いました。「他の言葉で話すこと」というフレーズが思い浮かびました。「他の言葉で話すことに何の目的があるのか？」と思いました。そして私は空っぽの部屋で神にこう叫びました。「神さま、あなたが私に異言で話すことを願うなら、私はその準備ができています。」すると、私の胸のあたりが動き、のどへ、そして舌が動き始めました。私はそれを制御することができず、気づくと、私は中国語のような言葉で話していました。私は求めたのでもなく、バプテスマも受けていませんでした。その後になって、水のバプテスマを受けたのです。

しかし、基本的な条件というものがあります。「だれでも渴いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい」とイエスは言われました。すると、「心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる」のです。素晴らしい変化です！渴いて求めていた人が、水が流れ出る川となるのです。それは何でしょうか。聖霊のバプテスマです。あなたがしなければならぬことは簡単です。イエスのもとへ来ることです。バプテスマを授ける唯一のお方、その所へ行ってバプテスマを受けるのです。あなたは飲まなければなりません。

これが宗教的な人々の抱える問題で、とても単純なことです。誰も口を閉じて飲むことはしません。口を閉じたまま聖霊のバプテスマを受ける人はいません。口を開けて何かを受けるのです。あなたは水を受けるのではなく、神の超

自然的な力を受けるのです。そのようにしている人が受けなかったことを、私は一度も見たことがありません。そのようなことは記憶にありません。三千人もの人がある経験をするのを見たことがあります、彼らは飲みました。その後、あふれ流れ出しました。心に満ちているものが口から出るというみことばを覚えていらっしゃいますか。聖霊はあなたのために話すことができないので、あなたが信仰を持たなければなりません。聖霊があなたに与えてくださっている言葉をあなたは話さなければなりません。これは、信仰のステップですが、信仰がなくては神を喜ばせることはできません。

今これを聞いていらっしゃる人で、その素晴らしい超自然的な体験をしたいと願う方のためにお祈りしたいと思います。教会を変ったり、教会に加わることをお勧めしているではありません。使徒たちが必要だったもの初代教会が必要だったものがあなたにも必要であるとお勧めしているのです。

この簡単な祈りでお導きます。あなたがイエスの元へ来るようにと祈ります。あなたがアーメンと言ったら、その次には飲んでください。

いいですか。あなたは私のもとに来るではありません。私はバプテスマを授ける者ではありません。あなたは、イエスの元へ来るのです。このシンプルは祈りで、私はバプテスマを受けたいと言うことをイエスさまに表わしてください。イエスの元へ行き、求め、飲んでください。これは、あなたがとても単純で愚かに見えることをしなければならないので、宗教はそれを難しくさせていることです。あなたは口を開けて聖霊を飲んでください。水ではなく、神の霊を飲むのです。しばらくすると、またある人は即座に起こるかもしれませんが、あなたが飲むその少しの水は、川となり、あなたの口から流れ出し始めます。心から出て口が話します。あなたの心から口が話すとき、それはあなたの心があふれ流れているのです。あなたはその内側を見ることはできません、それがいつ満たされるのかを知ることもできませんが、いっぱいになっていなければ、あふれ出ません。

では、祈りを導きますが、あなたと神と2人きりになってください。周りの人を気にしないでください。もし他の誰かがとても興奮し出しても、かまわないでください。興奮することは罪深いわけではないと言い聞かせましょう。この重要なステップを覚えておいてください。あなたは飲み、ある時点で、信仰によって、話し始めます。忘れないでください。あなたは神の子です。あなたがパンをくださいと言うと、神はあなたに石を与えることは決してしません。あなたが聖霊を求めらるなら、あなたに与えられるのは、聖霊です。

私は、あなたがイエスのもとへ行く祈りであなたを導きます。あなたの救い主としてイエスを信仰によって告白するように導きます。なぜなら、もし、あなたが救われていないのであれば、それをするので、あなたは今、救われることができるからです。そうして、あなたは聖霊を受けるに値する者となります。この祈りの最後に、アーメンと言った後、何も祈らないでください。あなたは、祈りによって聖霊を受けるのではなく、飲むことによって聖霊を受けるからです。多くの人がすぐに自分で祈ります。しかし、あなたは自分自身のことばで話しているときに、あなたは別のことばを話すことができません。あなたは日本語で話すことをやめて、新しい言葉で話し始めてください。

では、このシンプルな祈りを導きます。私に向かって祈るではありません。私はただ、あなたがイエスの元へ来ることができるために言葉を授けているだけです。あなたはアーメンと言った後どうするのですか。飲み始めるのです。い

いですか。私の後について祈ってください。

「主イエスさま、私はあなたが神の子で、私の罪のために十字架で死なれ、死からよみがえられたことにより、神へのただ一つの道であることを信じます。私が犯した罪を告白し、あなたが私を赦し、あなたの血潮できよめられることを信じ、感謝します。主イエスさま、私は聖霊を受けるためにあなたのもとに来ています。私は心を開き、あなたがすでに私に注いでくださっているあなたの霊を飲みます。私からあふれ流れるようになることを信じます。イエス・キリストの御名によって信仰を持って感謝します。アーメン。」